

臨床実践能力習熟段階 (Clinical Ladder)

看護実践的側面

	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ
看護実践的側面 到達目標	① 日常生活援助のための基本的技術、態度を身につけベッドサイドケアが、安全確実に実施できる ② 担当患者のケアを通して看護の知識・技術を深められる	① 看護過程をふまえた個別的ケアが実施できる (受け持ち看護師、担当看護師としての役割が実践できる) ② 理論的知識と臨床情報の関係づけができる	① 専門領域における看護実践の役割モデルになれる	① 問題解決に対して柔軟な対応ができ看護の質を高め維持していく推進力となる ② FN看護論をいかして、看護場面における理論的かつ説得力のある指導ができる
情報収集	・担当患者について問診・カーデックスなど定められた形式を活用して情報収集できる ・担当患者について意図的に情報収集ができる	・患者の全体像が捉えられるような情報収集ができる ・日常業務の中で患者・家族から意図的に情報収集できる ・収集した情報から必要なものをチーム内に伝達できる	・患者が不安、心配など表出できるようコミュニケーション技法を用いて情報収集できる ・家族や社会問題について意図的に情報収集できる ・他の医療チームメンバーからも意図的に情報を得ることができる	・問題の領域に的をしぼり、選択的に情報収集ができる
計画立案	・指導を受けながら患者の回復過程がどの段階にあるか、回復過程を促進するケア・消耗を最小にするケアを挙げることができる ・担当患者の情報をもとに、指導者の意見を聞いてその日のケア計画を立てることができる	・患者の回復過程がどの段階にあるか判断できる ・回復過程を促進するケア・消耗を最小にするケアを計画することができる ・担当患者の情報をもとに、その日のケア計画を立てることができる	・退院後の生活を見通して、社会資源の活用や他部門と連携した計画が立案できる	・計画を立案する時にスタッフや他の医療チームメンバーから相談を求められ、指導ができる
実践	・指導を受けながら個別的な看護ケアが実践できる ・担当患者について看護計画に基づきケアが実践できる ・患者・家族の言動や表情から反応を観察し報告できる ・客観的データや身体上の変化を観察し報告できる ・看護実践を正確に記録できる (訂正の仕方・サイン・空白処理・表現方法) ・カルテを正しく扱うことができる (綴じ順・カルテの法的根拠・開示) ・静脈注射ガイドラインを知っており、指導を受けながら静脈注射を実施できる ・緊急時指示を受け行動できる	・計画に基づき正確に素早く時間内にケアができる ・患者・家族の言動や表情から反応を観察し判断できる ・客観的データや身体上の変化を観察し判断できる ・未経験の看護技術を実施する時、自分から資料や人的資源を活用することができる ・看護実践を正確に記録できるように指導できる (訂正の仕方・サイン・空白処理・表現方法) ・カルテを正しく扱うことを指導できる (綴じ順・カルテの法的根拠・開示) ・静脈注射ガイドラインにそって静脈注射ができる ・支援を受けながら緊急事態に対応できる	・熟練した看護技術を用いてケアができ、他のメンバーに指導できる ・自分の限界を認識し、資源を活用してケアに活かす事ができる ・静脈注射ガイドラインの内容を指導できる ・緊急事態に対応することができる	・看護実践において他のスタッフの人的資源になれる ・看護実践において創造性と刷新性を発揮できる ・多様なアプローチを組み入れて看護ケアが実践できる ・緊急事態にリーダーシップを発揮し対応できる
評価	・実践したケアについて正確に報告する事ができる ・ケア結果についての疑問や曖昧な点を質問し整理することができる	・実践したケアについて妥当性を評価できる ・患者のケアに対する反応を評価し記録できる	・提供した看護ケアが患者のニーズを満たしていたか同僚と評価できる	・提供した看護ケアについて質的、量的に評価し自他共にフィードバックできる

管理的側面

	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ
管理的側面 到達目標	① チームメンバーの役割と責任を果たすことができる	① リーダー・受持ち看護師の役割と責任を果たすことができる ② 状況に応じたリーダーシップが発揮できる	① 医療チーム内でのリーダーシップを発揮できる ② あらゆる場面でリーダーシップが発揮できる	① 部署における課題を明確にし、目標を示しながら管理行動が取れる
組織運営 組織活動 物品管理 環境整備	・部署の特殊性と業務内容について把握している ・部署の目標を知り、その達成活動に参加する ・チームメンバーの役割・機能を発揮する ・物品管理システム・ルールを知っている	・部署の特殊性と業務内容について説明できる ・部署病棟の環境、物品に気を配り看護管理上の問題について考えることができる ・チームメンバーと共に部署の問題について情報交換できる ・部署の委員会活動に参加し活動する	・部署の目標達成と看護ケアの質向上の活動を推進し、その達成度の評価に参加する ・部署の患者、看護スタッフ全体に注意を払う事ができる ・部署の業務改善に創造的に意見を述べ対策が立てられる	・患者サービスとスタッフの能力を考慮して部署管理ができる ・看護管理上の問題の発見やその解決のための方策を管理者と共に考える事ができる ・部署の方針に基づいた活動を推進する ・スタッフのパイプ役として機能する
経営的視点	・看護業務の経済的面に注意を払う事ができる	・病院の経営方針を知り、日常業務と結びつける。	・経済的視点に立ち効果的な業務ができる	・有効な病床管理・経営改善への具体的な提案ができ実施の推進役になれる
災害対策 ・危機管理	・災害対策について知っている ・危機管理安全対策について知っている	・勤務中に生じた緊急・災害時に適切に対処できる	・職場の危機管理安全対策の改善への提案ができ、自ら実施し、後輩へも指導できる	・院内危機管理安全対策が職場で実施できる推進役になる

教育的側面

	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ
教育的側面到達目標	院内研修、看護実践を通して、看護とは何かを明確にする	看護の視点を実践の場に生かすことができる	後輩および看護学生に対して指導的に関わられる	部署における教育的役割がとれる
自己学習 専門領域 職業一般	・院内教育プログラムへ参加する ・看護に関わる法律を知っている ・社会人、職業人としての常識的な行動が取れる ・割り当てられた課題について学習し発表する事ができる	・専門的知識・技術を同僚と共有し活用する ・看護に関わる法律の運用について知っている	・医療チームにおける様々な関わりの中で倫理的問題に対処できる ・自分の目的に沿った教育プログラムを選択し学習することができる	・臨床専門領域に関係する教育プログラムに参加する ・臨床実践者のモデルとして役割を果たす事ができる
育てる 新人教育 ・後輩育成 隣地実習	・学生の行動計画を把握し援助する事ができる	・プリセプターの役割が取れる ・部署での学習会の企画を一部担当する ・看護技術の習得・看護計画の展開など学生を援助しアドバイスできる	・専門知識を活用し、後輩への教育指導ができる ・部署での学習会の企画に積極的に参加し指導者として役割を果たす事ができる ・プリセプターフォロアの役割が発揮できる ・看護実践に関して学生の指導ができる	・看護チームメンバーの能力開発、人間性の成長を支援することができる ・患者ケア、看護スタッフの育成、病棟の運営、他部門との連携に関して、学生の指導ができる

研究的側面

	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ
研究的側面到達目標	研究活動に参加する 理論的知識と臨床状況を関係つけるのに援助を必要とする	課題に研究的に取り組み、看護実践を振り返ることができる	看護研究・研修を通して看護実践・専門看護を深めることができる	管理および専門看護分野における研究開発を行い、変革の推進者となる
自己研究セクションの研究参加度	研究に関心を持ち参加していこうとする意欲がある	看護研究チームの一員として、割り当てられた研究の一部を行う	看護研究を計画しスタッフと共に取り組む事ができる	・看護研究を進め、院内外に広めることができる ・看護研究を臨床で応用できる